

医療的ケア児者への支援について考える ～保健師の専門性の視点から～ 実施要領

1 研修の目的

医療的ケア児者の支援には、多種多様な職種・支援機関が関わっており、保健所や保健センター等の保健師も含まれます。保健師による医療的ケア児者への支援は広範囲ですが、各支援には共通した基本姿勢・基本理念があり、それは保健師の専門性と言えるものです。

本研修では、保健師としての専門性を再確認した上で、その専門性の視点から、医療的ケア児者支援において保健師に何ができるか（何をすべきか）を考えます。

2 対象者

埼玉県内で医療的ケア児者支援に関わっている保健師

3 日時

令和7年3月21日（金）13:00～16:30

4 プログラム、講師

| 時間（予定） | 内容（予定） | 講師（予定） |
|-------------|--|--|
| 13:00～13:20 | オリエンテーション | 埼玉県医療的ケア児等支援センター |
| 13:20～14:20 | 講演（仮題）「小児在宅診療の実践～医療的ケア児とともに生きる社会を目指して～」 | 医療生協さいたま生活協同組合 熊谷生協病院 名誉院長 小堀 勝充 氏 |
| 14:20～14:30 | 休憩 | |
| 14:30～15:10 | 講演（仮題）「保健師の専門性から見た医療的ケア児者支援のあり方」 | 幸手保健所 保健予防推進担当 担当部長 牧野 栄子 氏 |
| 15:10～15:20 | 質疑応答 | 小堀 勝充氏、牧野 栄子氏、 埼玉県医療的ケア児等支援センター |
| 15:20～15:30 | 休憩 | |
| 15:30～16:30 | グループワーク 「保健師の専門性と医ケア児者支援」 ・各職場における医ケア児支援の取組 ・今後、どのように取り組めそうか ・全体共有あり | 進行：埼玉県医療的ケア児等支援センター コメント：小堀 勝充氏 牧野 栄子氏 |

5 研修方法・定員

- ・ Teams を利用したオンライン形式
- ・ 定員 200名（先着順）

(注意) 1台のパソコンで複数人が視聴する場合

- ・各受講者情報を把握したいため、お手数ですが、お申し込みはそれぞれしてくださいますよう、御協力お願いいたします。
- ・グループワークについては、代表者を1名決めて御参加ください。

6 申込期間

令和7年2月10日（月）～令和7年2月28日（金）

- ・定員を超えた場合、「受付終了しました」と表示され、申込画面に進めな
いようになります。
- ・お申込みいただいた方には、令和7年3月17日（月）までに受講に必要な
情報等をメールでお知らせします。

7 申込方法

電子申請・届出サービスで「登録せずに申し込む」からお申し込みください。

※受講決定通知はありません。

【URL】

https://apply.e-tumo.jp/pref-saitama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=87801

【スマートフォン用2次元バーコード】



8 注意事項

○事前に使用予定の機器カメラ、マイク機能が使用できるか確認の上お申し込み
ください。カメラは基本的に常時 ON にしていただきます。

○受講は、以下のセキュリティ要件を満たす場合に限りです。

- ・使用するPC等のOSやアプリケーションソフトがサポート中であること
- ・使用するPCは必ずウイルス対策ソフトを導入し、最新の定義であること
- ・画面や音声の関係者以外の目や耳に触れない場所での参加とすること
- ・使用する回線は本人もしくは所属する組織が管理するものとし、フリー
Wi-Fiは不可とする。

○受講にかかる通信料等は、受講される方の負担となります。

○ご自身のパソコン、スマートフォン等機器やインターネット回線の障害等に起
因する研修受講上のトラブルにつきまして、当センターは責任を負いかねます。

○研修の録画・録音・撮影、及び資料の二次利用、詳細内容のSNS等への投稿
は固くお断りします。これらの違反行為が発覚次第、著作権・肖像権侵害とし
て対処させていただくことがあります。